

ともに噂の検証班 天気が良くないと・・・?

「天気が良くないと、カフェのお客さまが増える」こんな話を担当者から聞きました。

普通は逆のような気がします、それは本当なのか？ そんな疑問がわき、実際に調べてみることにしました。28年4月から29年3月までの一年間、その日のカフェの来店者数と天気をまとめました。結果は表①のように極端な変化は見られませんでした。

「やはり変わらないのか・・・」あきらめかけたその時、第56号で汁物ランキングをまとめた表を見つけた我々は「悪天候の多い冬期はどうなんだろう？」という疑問がわき、12月1日から2月末日までで調べてみることにしました(表②)。



すると、晴れやくもりの日に比べ、雪や雨の日のほうが平均で1人以上お客さまが多いということがわかりました。冬期に限れば噂は本当だったのです！

しかしここでさらなる疑問が。ランチの人とコーヒーなどを注文した人の動向の違いは？ 開店時間の天気の移り変わりで影響があるのか？ 我々「ともに噂の検証班(班員1名)」はさらなる調査をし、カフェのお客さまを増やすヒントにしていきます。

調査継続!

表① 28年度 平均来店 者数	天気状況別	日数	平均人数
	はれ	94	8.9人
	くもり	111	8.8人
	ゆき	23	8.8人
	あめ	8	8.0人

表② 28年12月 から29年2月 までの 天気と来店 者数	天気状況	日数	平均人数
	はれ	10	8.4人
	くもり	28	9.3人
	ゆき	14	10.1人
	あめ	1	10.5人

精神科医 土田正一郎の



**診察室で
考えて
いること(仮)**
その36
にんちいき
認知域

「認知域」という言葉が一般に流通しているのか私は知らない。何故なら、先程ふと思いついた言葉であるから。それは認知できる世界の広さを表している。

狭い認知域しか持たぬ場合は、その世界の中でしか考えられないということの意味している。その認知域に重ならない世界のことは理解できないか、無視するか、気付かないか、それとも自らの狭い認知域にまで歪めて理解しようとするかである。認知域外の出来事には、謙虚をもって遇することが望ましい。 ともに顧問(自称)

各事業報告～3月末現在

- ◆障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい 契約/移行4人、継続B21人 見学/2人 体験/0人
- ◆グループホームよろこび 利用者/21人(定員22人) 見学/0人、体験/0人
- ◆法人会員 正会員21人、賛助会員 団体3 個人89人
- ◆寄付物品 牛乳パック
- ◆今年度寄付金 のべ5団体24人 1,256,041円

編集後記

この号を出稿する日の朝、フィギュアスケートの浅田真央選手が現役を引退する報道がありました。辞める決断の重さとともに、5歳でスケートを始めて今まで続けたことの偉大さを感じます。私も今していることを継続する大切さを感じました。お疲れさまでした。(かわさき)

通信 ともに

第47号



2017年4月19日発行

発行者/認定NPO法人ともに
 住所 〒044-0053 虻田郡倶知安町北3条西2丁目
 でんわ (0136) 55-5828
 FAX (0136) 55-5829
 Eメール info@npo-tomoni.com
 公式ホームページ http://www.npo-tomoni.com
 公式ブログ http://blog.canpan.info/npotomoni/

今月の一枚



倶知安町長杯フリースタイルスキー*1
グランヒップ

※正会員のみなさまへ

今年度のNPO法人ともに通常総会は、5月19日(金)の予定です

春の拡大版、今年は日本社会福祉弘済会さまの助成で開催



毎年開催している「みんなで学ぼう 春の拡大版」。これまで製薬会社さまとの共催や後援でおこなってきましたが、今回は公益社団法人 日本社会福祉弘済会(日社済)さまの社会福祉助成事業(集合研修)の助成金を受けて開催することに決まりました。

日社済さまありがとうございます。現時点で決まっていることは以下の通りです。詳細が決まりましたら随時お知らせいたします。



昨年度の様子

**みんなで学ぼう
春の拡大版
開催要項(予定)**

と き：平成29年7月8日(土)
 ところ：倶知安町 ホテル第一会館
 テーマ：「地域・職場での心の健康を考えよう」
 講師：現在交渉中
 ※シンポジウムも開催予定です。

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

「知ってる会？」からの委託作業

除雪作業が一段落し、畑作業が始まるまで間がある農業部。ちょうどそのころ、自立支援協議会「知ってる会？」から委託作業の依頼をいただきました。

ポケットティッシュに「知ってる会？」のラベルを入れる作業で、その数500個。農業部の利用者はラベルを一つずつ丁寧にポケットティッシュに入れました。

できたティッシュは8月のくっちゃん福祉まつりなど町内のイベントで配布し、俱知安の障がい者福祉を広報するという事です。「知ってる会？」のみなさん、貴重な作業をありがとうございます。



ラベル入れ作業を進めているところ。ポケットティッシュを傷つけないよう慎重に作業します。



雪掘りにんじんを収穫。即完売!

3月下旬、昨年秋に植えて雪の下で眠っていたにんじんを収穫し、コープさっぽろ俱知安店「ご近所やさい」で販売しました。31袋用意したにんじんはすぐに完売。甘くてジュースにしてもいいと評判でした。



人の背丈まである雪をがんばって手掘りしました



3本一袋に詰め、150円で販売しました。

グループホーム
よろこび

住民と共同でまちを創る～福祉フォーラム

3月23日に俱知安町社会福祉協議会が主催で開かれた福祉フォーラムに行ってきました。

今年は北星学園大学福祉計画学科教授の岡田直人先生により、町内会のボランティア活動について大阪市鶴見区榎本地区*3の活動を紹介します。住民主体のまちづくり活動について考えました。

ここでは夏祭りにもっと若者を呼ぼうと、ダンスやバンドをしている高校生に声をかけて発表の場を提供する代わりに、食べ物などの売り子をしてもらう取り組みで幅広い世代に来てもらうようになったという話や、音楽サロンを開いたとき参加者に拳手で手伝ってもらう人を募集し、活動の継承ができるきっかけになったということにとっても共感を覚えました。



このあと俱知安町内の町内会2か所によるボランティア活動の実践発表があり、私が所属する町内会も積極的な活動をしていることを初めて知りました。回覧板をあまり読んでいなかったことを反省すると同時に、住民が主体となって課題に取り組んでいる活動がとて素晴らしいと思いました。

グループホームの職員としても地域住民との関わりが大切なことを、まちづくり活動を通して強く感じました。とても良い勉強会だったと思います。(あさの)

ユニフォームお披露目&芽室町遠征

3月24日に芽室総合体育館にて、ソーシャルフットボールin芽室が行われました。NPO法人ともから当事者チームJuntos、サポートスタッフチームのJuntos Unitedの2チームが参加。他チームは帯広からアユターレ、北海道選抜のリベルダージなど当事者チームもふくめ、全部で6チームが参加しました。

今回スポンサーおよび寄付者のみなさまのおかげでユニホームを買うことができ、他のチームにお披露目する事が出来ました。大会の2日前に一式が到着した時は待ちきれない様子で中を見て、フットサルをしていることの実感をより感じていたような気がします。

試合内容では、Juntosは得点や1勝が遠く、1分け5敗となり今大会では勝つことができませんでした。しかしチーム内のミーティングで大会内容を振り返り、選手達(当事者)はこれまで以上に勝利したいというモチベーションが上がってきています。

次の大会は、6月24日札幌で行われる北海道チャンピオンズカップ*2です。当事者限定の大会では道内で1番大きい大会になります。そこでまず1勝。そしてより高い順位を目指して練習に励んでいきます。みなさまのご支援、ご声援をよろしくお願ひします。

(ふじさわ)



3月22日にユニフォームが到着。さっそくJuntosの選手たちの手によって開封する。



ユニフォームの色は緑色と赤色の2種類。ホーム(本拠地)とアウェイ(敵地)で使い分ける



MVP2位は当チームのゴールキーパーが獲得!

たね塾season III コンセプトは「答えを探す」

精神障がいの実践的な支援技術を一緒に考える講座「たね塾」は今回で3回目になりました。

先着15人ですので、受講を希望される方はお早めにお申し込みください。

お問い合わせは法人事務局までお願いします。

会場：わっくわく食堂
会費：ともに会員3,000円、非会員7,000円
開講日：全7回 5月-11月

毎月第2火曜日午後6時30分~8時30分

入塾条件：自分の頭で考えたい!という志のある方
※当日参加はできません。